

健康遊歩道について

【意見・提案など】

職員のみなさま、日々の市政業務ごころうさまです。提案です。坂戸山周辺地域の魚野川河川敷利用（主に泉田橋〜二日町橋）で歩道専用路などの計画はどうでしょうか。

国・県も関わると思いますが、まず、①トレネキング始め、ジョギング・ウォーキングで健康と体力づくり、生活習慣病打破、②春は桜並木通りと花いっぱい・夏は鮎釣り・バーベキュー・河川の見学、秋は坂戸山周囲紅葉観賞、冬は雪景、四季を通しての散策路、③その中に坂戸山を中心にディスプレイ、銭淵公園、二日町グラウンドを含む総合多目的公園化など。国道・県道でのトレネキングをしている人を拝見しますが、車・構造物の接触、交差点では危険がいっぱい、夜間はさらに危険です。その点、河川敷は安全、安心ではないでしょうか。南魚沼市は他市町村より健康に対する真剣みがないように思われます。ご存じと思われませんが、長岡花火会場付近のフェニックス大橋〜長生橋〜大手大橋〜長岡大橋〜蔵王橋間は、休日となればジョギング、ウォーキング、散策を楽しむ人でいっぱい。見事で気分最高です。散策にいかがでしょうか。

以上むずかしいですが、いつかはそういう方向性になることを期待しています。

（平成30年1月）

【市からの返事】

市民の健康意識は年々高まっており、意欲的に体を動かし定期的な運動を心がけている人が増えていると考えています。このことを裏付けるように、市の健康診断時の運動習慣に関する問診結果では「1回30分以上の運動を週2回以上継続している人」の割合が増加しています。しかし、県検診保健指導支援協議会の報告によると、定期的な運動習慣のある人の割合は県内で20位となっていることから、引き続き健康増進の取り組みを進めていく必要があります。市では、平成28年3月に策定した「いきいき市民健康づくり計画」

に、ご提案にあるような自然環境を利用した健康づくりの取り組みを記載しています。生活習慣病予防の観点ではウォーキングの重要性が高く評価されていることから、県と県ウォーキング協会により市内6か所のウォーキングコースが新潟県健康ウォーキングロードとして選定・登録されています。運動習慣としてのウォーキングの推奨に加えて、地域のイベントなどでも活用するなど、観光交流や環境保護の観点を含めた取り組みを進めています。

市内には、八色の森公園をはじめ、銭淵公園、かまくら桜ヶ丘公園などウォーキングに適した公園が多くあります。大原運動公園、登川河川公園などジョギングやランニングができる施設も整備されています。

平成27年のスポーツ庁発足に合わせ、市はスポーツ健康都市を宣言し、市民のスポーツへの多様性に対応した屋内外のスポーツ施設の充実を図ってきました。

これらのことから、市民のだれもが気軽に運動を楽しめる環境は一定程度整ったと考えています。そのため、ご提案の歩道専用路な

どの設置は現時点では考えていませんが、泉田橋〜二日町橋間については健康ウォーキングロードとしての活用を検討しています。具体的には、魚野川に親しめる環境整備の一環から「ふれあい魚野川プロジェクト整備事業」として、河川敷内の道路のアスファルト化を実施できるように、県、市、地元団体と話し合いながら進めています。今後も市民のスポーツへの関心や動向を把握しながら、さらに利用しやすい環境づくりを進めるとともに、現有施設の利用促進を図っていきたくと考えています。また、広域的な自治体連携により、各自自治体が保有する施設の共同利用を図れるような体制づくりも検討しながら、暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

（担当：企画政策課）

